

2011年9月7日

BPO（放送倫理・番組向上機構）

放送倫理検証委員会 御中

株式会社 テレビ東京

2011年7月6日に放送倫理検証委員会決定としてご通知いただきました「情報バラエティー2番組3事案に関する意見」を受け、その再発防止策を検討してきましたが、その内容がまともりましたので、これまでの経緯と合わせ下記の通りご報告申し上げます。

## 記

### 1. 放送倫理検証委員会決定当日の対応について

下記社告をマスコミ各社にリリースしました。

#### 「BPO・放送倫理検証委員会決定」を受けて

昨年11月8日に放送いたしました「月曜プレミア！主治医が見つかる診療所」につきまして、本日、BPO（放送倫理・番組向上機構）放送倫理検証委員会から「意見」をいただきました。情報バラエティー番組における事実や情報の扱いについては、「ありえへん 世界」も審議いただいているところであり、テレビ東京では、この意見書を変重く受け止めております。

今後、弊社のみならず、制作会社等を含めた番組制作に携わる全てのスタッフとともに議論を深め、視聴者の皆様の信頼に応えられる番組作りに一層努めてまいります。

2011年7月6日 テレビ東京

上記社告をテレビ東京ホールディングスのホームページに掲載しました。

ニュース番組「NEWS FINE2部」内17時9分16秒～10分40秒の1分24秒間で委員会決定をニュースとして伝えました。

ニュース番組「ワールドビジネスサテライト」内23時40分00秒～41分18秒の1分18秒間で委員会決定をニュースとして伝えました。

テレビ東京グループの電子連絡掲示板に委員会決定を掲出、グループ社員に閲覧を呼びかけました。

## 2. その後の経緯について

7月7日のニュース番組「NEWS モーニングサテライト2部」内6時31分53秒～32分57秒の1分4秒間で委員会決定をニュースとして伝えました。

7月7日のテレビ東京放送番組審議会に於いて本事案を報告し、委員から意見を聞き取りました。また、9月7日の同会に本事案対応報告を行いました。

7月14日の社員異動者研修会において意見書・手紙を使用して研修を行いました。

8月5日に重松、水島両委員を招聘し「『若きテレビ制作者への手紙』への返信」と題し社内外170名出席の研修会を実施しました。

自局検証番組「ウオッチ！7」で今回の事案について放送しました。

7月10日 委員会決定について

7月24日 放送番組審議会報告について

8月14日 研修会開催について

内規である「制作ハンドブック」を改定しました。

## 3. 再発防止策について

今後再発を防止するため、番組スタッフ全員で、この番組で扱うべき情報は何かを再認識し、問題意識を向上させるための勉強会を制作局で実施しました。更に、この事案を周知徹底させる為に、テレビ東京の番組制作に携わる制作会社50社155名のスタッフを招いて、制作局コンプライアンス説明会を2月4日に実施しました。当番組制作においては、以下の再発防止策を講じます。

### 内容チェックの厳重化

内容を軌道修正する事も鑑みて、1)リサーチ報告後、2)ロケ前、3)スタジオ収録前、4)本編編集前、5)納品前の5段階でプロデューサーとチーフプロデューサーがダブルでチェックを行います。またプロデューサーは「医療・健康・食品」番組制作チェックシートを必ずチーフプロデューサーに提出します。

### リサーチの強化

会議資料全てに出典/日時を明記、インターネットリサーチに関しては、URLを必ず明記します。また販売サイトへの誘導やそのHPに信憑性があるのか、また、雑誌においてはPR記事ではないか、特定の団体/個人の利益に繋がるものでないかをプロデューサー自らがチェックを行います。更に、調べていく段階で、疑問に思う事や放送基準に抵触する恐れがある事等については、番組審査部・編成部と密に連絡を取り合い、総合的に判断します

#### ロケ / 取材者の選定チェック強化

取材対象者と会うときは番組スタッフ2名以上の体制で行います。また、取材対象者の了解を得た上で、カメラ / ボイスレコーダーで取材内容の記録を残します。

また 取材対象者としてふさわしいのか、チェック項目を作成します。

(ex) 基本的なプロフィール、商品を販売していない、等の質問事項

#### 番組審査部との連携強化

収録前の台本チェックについて、電話やメールでのやりとりではなく、プロデューサーは番組審査部と直接顔を会わせ、細部にわたりチェックを受けます。

#### 制作スケジュールの見直しと納品の前倒し

今後は放送の5日前までに完パケ / 納品し、最終チェックの期間を設け、番組審査部のチェックを受けます。その為にも制作スケジュールの全体的な前倒しを行い、余裕のあるスケジュールで臨みます。

#### エマージェンシー対策

制作途中で放送に相応しくない取材対象であると判明した場合の緊急差し替えに備え、エマージェンシー用の代替 VTR ( 医師ドキュメンタリーなど ) を制作しストックしておきます

#### 4. 終わりに

貴委員会の意見書の中で指摘された「取り上げた情報・事実の正確さを確認する努力を怠っていて、その扱い方が杜撰だった。」「プロデューサーの求心力不足」などを原因として、本事案を放送倫理違反と判断されました弊社といたしましては、貴委員会の「意見」を大変重く受け止めております。また、今回初の試みである「若きテレビ制作者への手紙」で表現されました「注意喚起をしながら萎縮することなくはつらつと番組を作って欲しい」という内容に、本事案関係者だけではなく全ての番組制作関係者への非常に暖かい思いも深く受け止めております。

その上で、近年の番組制作に散見される「制作体制の基本が抜け落ちるような事態を生じさせる要因が放送局と制作会社のなかにあり、さらにそれを取り巻く現今の情報環境変化に対応できていない」こと、「半タレント的パーソナリティの出現による取材側と取材対象者の一体化」による出演者へのアプローチの困難さなどを念頭に置き、弊社番組を制作・放送している関係者全員にあらゆる機会を通じ、今回の問題点を理解させ改善し、再発防止策を策定しつつ放送倫理の向上に努めてまいり所存です。

以上